

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所きらめき読谷		
○保護者評価実施期間	令和8年2月3日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年2月3日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別ニーズに合わせた基本的な身体介助および自立支援に加え、PT,ST視点の取り組み、他職種間で協力して集団活動への参加を支援できる。	・本人ニーズや要望を汲み取り、意欲的に活動参加が出来るように小集団活動含めて時間調整をしている。天気の良い日はみんなで散歩をするようにしている。	・近隣の外出プログラムや地域交流、地域連携に取り組み社会参加を楽しませたい。
2	・静かで落ち着いた立地で看護師がおり医療的ケアニーズのある児童が過ごしやすい環境である。	・本人と家族負担が減らせるように可能な限り送迎支援が出来るように時間と人員配置をしている。	・看護師と福祉車両運転手配置で保護者ニーズに応え利用しやすい体制づくりに取り組みたい。
3	・放課後デイの児童含めて兄弟の様に異年齢で活動を楽しむことが出来る。	・必要に応じて職員が仲介することで、子ども同士のコミュニケーションが図れるようにしている。	・絵カードなどのコミュニケーションツールや読み聞かせにより、気持ちを子どもなりに表現できる支援に取り組みたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・多機能型である為、午前中は児童が少な目で個別活動中心になりやすい。	・地域移行支援により保育園や幼稚園併用が増えている。	・法人内の児童発達支援事業所と合同支援や地域の子どもが通うことも園との交流に取り組みたい。
2	・活動プログラムに地域交流や地域連携の計画が回りづらい。	・体調管理が主になる為、人の多い場所や移動時間が長くなる事を避ける傾向がある。	・感染症の少ない時季に計画立てて地域交流、連携を実施出来るように取り組みたい。
3	・こどもの自立支援観点で支援しているが、特に活動日課の時間が短くなる場合に生活動作介助が手厚くなりやすい。	・主に朝の会、昼食や午睡、帰りの会の集団日課で支援する為、介助場面でゆとりを持ち見守りと声掛け支援に十分に時間をかけられない事もある。	・こどもが出来ることは本人が落ち着いて取り組めるように、職員は焦らずゆとりを持って見守る時間がとれるように業務改善に取り組みたい。